

授業概要

教育場面において必要とされる教育心理学の理論と実際の問題の見方・対応について学ぶことを目的とする。そのために、学校生活に関わる次のテーマについて取り上げる。子どもの発達の理解、効果的な学習指導法と授業の展開、教師のリーダーシップとクラス経営、学習の評価、学校・家庭・地域の連携の在り方などである。さらに、日本の教育が抱える教師の精神保健の問題についても考える。

授業計画

第 1 回	教育心理学の成り立ちと目的。
第 2 回	発達の諸相(1)：発達に及ぼす遺伝と環境の影響について考えると同時に環境の影響としての教育の重要性について考える。
第 3 回	発達の諸相(2)：乳幼児期の発達の特徴と課題：①愛着形成と初期経験の重要性について学ぶ。 ②ピアジェの認知発達理論について説明し自己中心性と思考の様子について学ぶ。
第 4 回	発達の諸相(3)：児童期の発達の特徴と課題：友人を中心とした社会性の発達について触れると同時に他者との比較などから生じる自己概念形成について学ぶ。 また自己についての自尊感情と学習活動、学校適応との関連についても触れる。
第 5 回	発達の諸相(4)：思春期・青年期の発達の特徴と課題：エリクソンのライフサイクル理論を説明し、自我同一性、モラトリアムと学校生活との関連になどについて触れる。
第 6 回	学習の諸相(1)：古典的条件付けやオペラント条件付けなどの学習理論について教育との関係から学ぶ。
第 7 回	学習の諸相(2)：洞察学習、観察学習などの基本的な学習理論について教育との関係から学ぶ。
第 8 回	授業の展開(1)：生徒の学習意欲と内発的動機づけについて考え、動機づけ理論の背景と原理について学ぶ。また、実践例から理解を深める。
第 9 回	授業の展開(2)：発見学習、有意味受容学習、バス学習、ジグソー学習などの学習指導法について、その特徴と提唱された理論的背景について学ぶ。
第 10 回	授業の展開(3)：児童・生徒の主体的学習に関わる自己調整学習の理論的背景と原理について学び、自己調整学習の実践例から効果的な授業の方法について検討する。
第 11 回	学級集団の特性と指導(1)：教師のリーダーシップについて触れると同時に、教師のリーダーシップ理論と学習環境形成に関わるクラス経営について学ぶ。
第 12 回	学級集団の理解と指導(2)：いじめの現状と背景について触れると同時に、いじめを起こさないための心の教育、生徒と教師の関係作り・クラスの人間関係作りについて考える。
第 13 回	学級集団の理解と指導(3)：いじめ防止のための家庭・地域との連携の必要性について考える。
第 14 回	学習の評価：学習評価の目的を理解し、学習成果についての評価の方法（絶対評価、相対評価、個人内評価、診断的評価、形成的評価、到達度評価、ポートフォリオ評価など）について学び、その特徴を理解する。また、実践例を通して理解を深める。
第 15 回	教師の精神保健と学校の活性化のあり方について考える。
第 16 回	筆記試験

到達目標

授業の到達目標及びテーマ

- ①教育心理学の基礎的な概念と理論を身につける。
- ②教育に関連する諸問題を心理学的視点から理解し分析検討できる。
- ③教師として生き生きと関わることの重要性について理解する。

履修上の注意

- ①毎回出席を取る。 ②私語・携帯は慎むこと。
- ③授業には積極的に参加すること。授業中は質問していくので積極的に発言するように心掛けること。
- ④内容に応じて、小テストを実施することがある。

予習・復習

各回の授業については事前に目を通し調べておくこと。授業の内容によっては、予習・復習を兼ねて レポートを課すことがある。

評価方法

レポート提出(30%)、平常点(授業への参加度)(30%)、筆記試験(40%)により合わせて総合的に評価する。

テキスト

・教科書名：『発達と学習の心理学』 ・著 者 名：尾形 和男 ・出版社名：田研出版 ・出 版 年：2013